「基礎数学[第 2 版]」3 章正誤表　(2025 年 7 月 30 日現在)

第 2 刷までの正誤表

頁	場所	誤	正
p. 95	上から 4 行目	$k<1$	$k>1$
p. 100	下から 4 行目	・・・，$x=2$ だから・・・	・・・，$x=-2$ だから・・・
p. 104	上から 8 行目 例題 3.16 問題文	・・・，双曲線 $y=\frac{4}{x}$ のグラフを・・・	・・・，双曲線 $y=\frac{1}{x}$ のグラフを・・・
p. 104	下から 8 行目 例題 3.16 解く前に	$\frac{cx+b}{ax+d}=\frac{c}{a}\frac{c\left(x+\frac{b}{c}\right)}{a\left(x+\frac{d}{a}\right)}=\underbrace{\boxed{\frac{c}{a}}}_{q}\frac{x+\frac{b}{c}}{x+\frac{d}{a}}$ と変形・・・	$\frac{ax+b}{cx+d}=\frac{a\left(x+\frac{b}{a}\right)}{c\left(x+\frac{d}{c}\right)}=\underbrace{\boxed{\frac{a}{c}}}_{q}\frac{x+\frac{b}{a}}{x+\frac{d}{c}}$ と変形・・・
p. 104	下から 6 行目 例題 3.16 解答	$y=\frac{2x+3}{x+1}=\frac{2(x+3)}{x+1}=2\cdot\frac{x+\overbrace{\boxed{3}}^{\alpha}}{x+\underbrace{\boxed{1}}_{\beta}}$ $=2\left(\frac{\overbrace{3-1}^{\alpha-\beta}}{x+1}+1\right)=\frac{4}{x+1}+2$	$y=\frac{2x+3}{x+1}=\frac{2\left(x+\frac{3}{2}\right)}{x+1}=2\cdot\frac{x+\overbrace{\boxed{\frac{3}{2}}}^{\alpha}}{x+\underbrace{\boxed{1}}_{\beta}}$ $=2\left(\frac{\overbrace{\frac{3}{2}-1}^{\alpha-\beta}}{x+1}+1\right)=\frac{1}{x+1}+2$
p. 104	下から 5 行目 例題 3.16 解答	よって $y=\underbrace{\boxed{4}}_{r}\times\frac{1}{x-\underbrace{\boxed{(-1)}}_{p}}+\underbrace{\boxed{2}}_{q}$ より	よって $y=\underbrace{\boxed{1}}_{r}\times\frac{1}{x-\underbrace{\boxed{(-1)}}_{p}}+\underbrace{\boxed{2}}_{q}$ より
p. 104	下から 2 行目 例題 3.16 解答	・・・，$y=\frac{4}{x}$ のグラフを・・・	・・・，$y=\frac{1}{x}$ のグラフを・・・
p105	上から 3 行目の 3.8 の囲み内 2 行目	「直線 $x=-\frac{d}{c}$ ・・・	直線 $x=-\frac{d}{c}$ ・・・ (「 は不要)
p105	下から、4 行目の　注意 ①	① ・・・ y の値を調べると⇒ y 軸との交点がわかる.	① ・・・ y の値を調べると、 y 軸との交点がわかる. (⇒ は不要)
p105	下から、2 行目の　注意 ②	② ・・・ x の値を調べると⇒ x 軸との交点がわかる.	② ・・・ x の値を調べると、 x 軸との交点がわかる. (⇒ は不要)
P234	問 3.18(3)の図		該当する問題が無いため取る

第４刷までの正誤表

頁	場所	誤	正
P74	例 3.2 (1), (2), (3)	クラフ	グラフ
P81	下から、５行目	しかし、一般に関数を表示する場合は x を独立変数（従属変数は y ）とするので x と y を入れかえた $y=\frac{1}{2}x$ が、・・・	しかし、x と y を入れかえて、関数の独立変数を x （従属変数は y ）と書き直した $y=\frac{1}{2}x$ が、・・・
P82	下から、２行目 3.4 の囲み	上の操作で得られた関数 $y=f^{-1}(x)$ を・・・	上の操作で得られた、x を独立変数とする関数 $y=f^{-1}(x)$ を・・・
P90	上から、４行目 例題 3.8	・・・交点のx座標・・・	・・・共有点のx座標・・・
P91	例題 3.9 解の １行目	判別式は $D=(-1)^2-4\times1\times k=1-4k$ だから	２次方程式 $x^2-x+k=0$ の判別式は $D=(-1)^2-4\times1\times k=1-4k$ だから
P94	上から、６行目	判別式を $D=b^2-4ac$ とおいて・・・	２次方程式 $ax^2+bx+c=0$ の判別式を $D=b^2-4ac$ とおいて・・・

第５刷までの正誤表

頁	場所	誤	正
P99	中段 １行目～２行目	$y=\pm\sqrt{ax}$ のグラフは，結局，２次関数 $y=\frac{1}{a}x^2$ のグラフの右半分または左半分を横にしただけであるので，原点を頂点とする放物線となる．	$y=\pm\sqrt{ax}$ $(a\neq0)$ のグラフは，結局，２次関数 $y=\frac{1}{a}x^2$ のグラフの右半分または左半分を横にした曲線となる．この場合，原点を $y=\pm\sqrt{ax}$ のグラフの**頂点**という．
P100	４行目	したがって，このグラフは頂点が (p,q) の放物線となる．	したがって，このグラフは頂点が (p,q) となるように $y=\pm\sqrt{ax}$ のグラフを平行移動した曲線となる．
P100	3.6 の囲み内 3 行目～4 行目	・・・放物線 $y=\pm\sqrt{ax}$ を移動したグラフ	・・・曲線 $y=\pm\sqrt{ax}$ を移動したグラフ
P100	3.6 の囲み内の 最下行	※ 頂点と他の１点を求めて放物線をかけばよい．	※ 頂点と他の１点を求めてかけばよい．

P101	注意 の 2 行目～3 行目	y 軸方向に－1 だけ平行移動した頂点 $(-2,-1)$ の放物線であることがわかる.	y 軸方向に－1 だけ平行移動し，特に頂点 $(-2,-1)$ とすればよいとわかる.